



みやぎe行動マスコットキャラクター
「eちゃん」(イーちゃん)
e行動(地球にやさしい行動)の案内役
として、いろいろな場面で活躍します。
よろしくお願いします。

第47号
2018年
8月発行

目次

- 夏休みには環境学習教室へ行こう! . . . P 1
- 廃プラ資源中国輸入ストップその後 . . . P 3
- H30年度事業者向け補助事業(第2期募集)のお知らせ . . . P 4
- E I Cが行く「新任の御挨拶2」 . . . P 5
- 環境関連用語集、編集後記 . . . P 6

夏休みには環境学習教室へ行こう！

県環境情報センター（県保健環境センターに併設）では、今年度も小・中学生のみなさんを対象に、夏休み環境学習教室を開催します。

いずれの教室も実験やワークショップを取り入れ、参加されるみなさんが環境や科学に一層関心をもってくださるような教室を準備しました。

みなさんの参加をお待ちしています！

（参加には事前に申込みが必要です。申込み方法等は下記を御覧ください。）

なお、**教室によっては満席となって募集終了していますので、最新の情報はウェブサイトでご確認ください。**

（宮城県環境情報センター <http://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/school.html>）

■平成30年度夏休み環境学習教室（8月開催分のみ抜粋）

日 時	テーマ・学習内容	対象学年
8月1日(水) 13:30～15:30	「生き物の設計図“DNA”を見てみよう」 普段は細胞の中に大切にしまっていて見ることができない、“DNA”を取り出して観察してみよう！	小学校 4～6年生
8月3日(金) 13:30～15:30	【定員に達しましたので、募集を締め切りました】 「骨を修復するセラミックス ～セメントで骨を治す～」 暮らしの中で活躍するセラミックスってどんな素材？ 活用例として、骨を治すセメントを実際にこね、固め、観察します。	小学校 5, 6年生 中学校 1～3年生
8月9日(木) 13:30～15:30	「“Ooho！（オウホウ）！”つかめる水を作ってみよう」 捨ててもすぐに土に還る Ooho! を作ることによってペットボトルなどを減らしたり、包装容器の環境への影響を考えます。	小学校 5, 6年生
8月10日(金) 13:30～15:30	「廃泥土のリサイクル ～不要な泥土から植物用の土をつくってみよう～」 水道水をつくる時に出る泥と古新聞紙を使って、植物が育つ土にリサイクル！あなただけのお手製鉢植えはいかが？	小学校 4～6年生
8月21日(火) 13:30～15:30	「持てるかな？エネルギーのかばん」 私たちの使うエネルギーの重さを知ることができるバッグやイラストカードを使いながら、私たちの生活を支えるエネルギーについて考えます。	小学校 4～6年生
8月22日(水) 13:30～15:30	【定員に達しましたので、募集を締め切りました】 「3R(スリーアール) ってな～に」 身の周りにある物で、どんな物がリサイクルされているか学びます。廃油で石けんを作る実験もします。	小学校 3, 4年生

■ 申込方法

次の1～7（駐車場利用希望の場合は8まで）の事項を記載の上、FAX又はメールでお申し込みください。

件名「夏休み環境学習教室申込み」

参加者（児童・生徒）について

- ① 氏名
- ② 学年
- ③ 年齢
- ④ 住所
- ⑤ 連絡のつく電話番号

参加を希望する教室について

- ⑥ 日時
- ⑦ テーマ

送迎のため駐車場の使用をを希望される場合は

- ⑧ 駐車場利用希望 と記載してください。

■ 申込先

宮城県保健環境センター 企画総務部（担当：横関，鈴木）

FAX 022-352-3866 / メール iphe-kikaku@pref.miyagi.lg.jp

■ その他

- ◇参加費は無料です（当センターの負担で傷害保険に加入します）
- ◇各教室の定員は10人程度です。付き添いの方の同席も可能です。
- ◇申込みは先着順に受け付け、参加者が定員に達した場合は、募集を締め切らせていただきます。
- ◇参加の可否については、申込みをいただいた方法（FAX またはメール）で、3日以内（土日祝日を除く）に連絡します。
- ◇参加申込時に提供いただいた個人情報は、夏休み環境学習教室参加に係る目的（傷害保険の加入手続きを含む。）以外では使用しません。



* 昨年度の開催の様子です。初めて体験する実験にドキドキしながら、みんな真剣に参加してくれました^^ 将来の科学者さんが生まれたかも？！

廃プラ資源中国輸入ストップその後

中華人民共和国が世界中から輸入していた資源ごみ（廃プラ・古紙等）の輸入を 2017 年末までに禁止することをWTO（世界貿易機構）に通達し、日本国内でも様々な影響が出始めています。

そこで、県は、県内での取扱量が多い廃プラスチック類を対象として、規制の経緯や中国の現状及び国内への影響について情報提供するとともに、県内事業者の皆様が適正な処理・リサイクルの手法を検討いただくことを目的として、平成 29 年 12 月 20 日に「廃プラ資源中国輸入ストップ 緊急対策セミナー」を開催しました。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/plasticsseminar.html>

また、この話題について取り上げたNHK「クローズアップ現代+」（5月9日放送）の中で、県の取組も紹介されました。

ペットボトルごみがついに限界！？ ～世界に広がる“中国ショック”～

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4126/>

<https://www.nhk.or.jp/gendai/kiji/098/>

三沢EICは、現状についてこのように解説しています。

中国は、輸入物に汚染物質や危険物質が大量に混入しているために環境汚染が深刻化しているとして、中国国内での健康被害防止や環境保護を目的に汚染度の高い廃棄物の輸入を禁止しました。実際、廃プラスチック類と生活ごみを分別せずに圧縮だけしたような物が大量に輸入されていたようです。



2010年の中国の輸入廃プラスチックの再生利用量は年間約780万トンで、そのうち日本からの輸出量は約140万トンを占めています。同じ年の日本国内の廃プラスチック類の総排出量は945万トンなので、約15%が中国に輸出された事になります。今回の中国の輸入禁止措置により、輸出量の約半分（70万トン）が行き場を失うと言われており、国内の廃プラスチック類市場等に影響が広がると想像されます。

一方、今回の中国の輸入規制は、環境保護や資源循環を強化しようという世界全体の大きな流れの中で行われたとも言えるので、この流れはより広がっていくと考えた方が良さそうです。

身近な所では、既に処理会社の一部に処理価格のアップや受け入れ量制限などを要求している所もあると聞きますが、「困った、困った」だけでなく、今後に向けて廃プラスチック類の安定したリサイクルの仕組みを構築し、リサイクル品の日本国内での利用拡大を進める事が不可欠と言えます。私達一人一人にとっても、プラスチックに頼りすぎた生活を見直すキッカケとするべきなのかもしれません。

H30年度事業者向け補助事業(第2期募集)のお知らせ

詳細については、ウェブサイトで公表中の補助要綱等で改めてご確認ください。

(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/>)



省エネルギー・コスト削減実践支援事業

省エネルギー設備の導入に要する経費の一部を補助する。

- 補助対象者：県内に事業所を有する事業者
- 補助対象設備：LED照明（県産品のみ）、高効率空調機、高効率ボイラー等
- 補助率：1/3～1/2
- 補助上限額：5,000千円
- 募集期間：平成30年8月中旬～9月中旬（予定）

みやぎ産業廃棄物3R等推進設備整備事業

産業廃棄物の3Rに資する設備の整備に要する経費の一部を補助する。

- 補助対象者：県内に事業所を有する（予定を含む）事業者
- 補助率：1/2～2/3
- 補助上限額：20,000千円～30,000千円
- 募集期間：平成30年7月30日（月）～平成30年8月24日（金）

御活用ください！

宮城県省エネルギー・新エネルギー・3R関連施策活用事例集（宮城県環境政策課）

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/ei-now.html>

再生可能エネルギー事業支援ガイドブック（東北経済産業局）

<https://renewable-energy-concierge.go.jp/static/gojp/pdf/guidebook.pdf>



補助事業導入設備の御紹介

大河原管内合同広報誌「SENNAN THE KING」に、平成29年度補助事業で導入された設備が掲載されました。

<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/694419.pdf>

「仙南地域で木質バイオマスの利用が進んでいます」のコーナー

EICが行く「新しいEICを御紹介します！」

環境産業コーディネーター（略称E I C）は、県内の企業を訪問して環境に関する企業の取組・情報を収集し、また、企業に対して必要な情報を提供しながら、企業の皆様の廃棄物の3 R（リデュース、リユース、リサイクル）、省エネルギー、再生可能エネルギー導入等の取組を支援しております。

E I Cは、民間企業において製造業等の工程管理や品質管理、環境管理等に携わった経験を有する者であり、非常勤の県職員として企業の皆様を支援します（E I Cの支援活動は無料です）。

6月に新たに1名が着任しましたので、御紹介いたします。



本年6月1日に環境産業コーディネーターに採用となりました高橋秀朗です。平成30年度に採用された庄司EIC、関場EIC([e-NEWS46号](#)で紹介)より、遅れての採用のため、課題への取り組み遅れを挽回すべく日々、奮闘しております。



採用前の仕事においては、高圧電気設備を中心とした電気設備の保全や空調運転、純水製造、無機系排水処理と広く、浅くの広範囲で保全業務に就いておりました。これまでは、一企業のため奮闘してきましたが、今後は、宮城県内で自然エネルギー、省エネ、とりわけ、産業廃棄物の3 Rを推進する事業所への支援業務に奮闘すべく、スイッチを入れ直し、また、自身のキャパを広げる勉強もしなければと考えております。

現在の課題は、建設廃棄物の廃石こうボードを中心とした建築廃材のリサイクル率向上、3 Rの推進です。石こうボードは、一般家屋、ビル、マンション等に広く利用され、解体、リニューアル工事に廃棄物として排出されています。廃石こうボードを中心に廃建築材のリサイクルは進んでいるとは思いますが、埋め立て処分がまだ、一部で行われているのも事実なので、問題点を明確にすることで、より一層のリサイクル向上に貢献したい考えです。

最後に私の内側の紹介になりますが生活の拠点は、栗原市鶯沢です。自然が豊かすぎる環境で生活と仕事をしてきましたが、週の時間の何割かを東北の最大都市で仕事をする環境にも慣れてきたようです。また、初心者レベルの登山を趣味とし夏、秋に見慣れた自然をちょっと違う位置から、ぼ〜っと眺めることで、自分をリセットしています。

年齢のせいか、一年があっという間に過ぎてしまう昨今ですが、気を引き締めて業務に励む決意なので、よろしくお願ひします。

高橋秀朗

環境関連用語集

今回の単語は、「Jクレジット」です。

「Jクレジット」とは、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組によるCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。認証されたクレジットは売買することができ、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、さまざまな用途に活用できます。

くわしくは、経済産業省・環境省・農林水産省が運用する「J-クレジット制度」のホームページを御覧ください！<https://japancredit.go.jp/>



編集後記

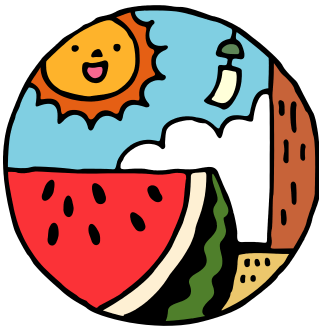
今月は、この一言のみです。

「熱中症にお気をつけください。」

気象庁リーフレット「熱中症に注意～高温注意情報～」

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kouon/index.html>

(担当：太田)



発行：平成30年8月

編集：宮城県環境生活部 環境政策課 環境産業振興班
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL：022-211-2664 FAX：022-211-2669

E-Mail：kankyoi@pref.miyagi.lg.jp

URL：

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/miyagikankyo-e-news.html>